

主な内容	2面	新たな学校づくりを進めています／中学生の職場体験
	3面	学びの多様化プロジェクト／町田市特別支援教育推進計画
	4面	市立図書館電子書籍サービスのご案内

まちだの教育

2024年
3月20日



発行:町田市教育委員会 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

お問い合わせ 教育総務課 ☎042・724・2172



町田市教育プラン24-28を策定しました。



計画の本編や概要版は、二次元コードからご確認ください。

町田市の教育振興基本計画である「町田市教育プラン24-28」が完成しましたのでお知らせします。2024年度から、市民の皆さまが学びを通してそれぞれの望む未来を創造することができるように、新たな教育目標を掲げます。そして、その実現に向けて様々な取り組みを推進していきます。

教育目標 「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」

町田市教育委員会は、市民一人ひとりが、学びを通して自らの生きがいを見つけ、他者への理解を深め、学び合うことで、自らが望む未来を創造することができる地域社会の構築を目指します。

特徴 基本方針・施策に組み込む要素 学び続ける力

教育目標を実現するためには、市民が生涯にわたって学び続ける学習者としての土台を学校教育にて培うとともに、いつでも学ぶことができる環境を生かし、生涯を通して学び続けていくことが必要と考えます。このことから、「学び続ける力」を基本方針、施策及び重点事業に組み込んでいます。

主な取組 持続可能で魅力があり、満足感を得られるような取組

この計画に位置付ける全ての取組は、持続可能で魅力があり、教育に関わる全ての人々が満足感を得られるように、児童生徒や教員、市民などが求めているニーズ、環境変化を踏まえた町田市の強み等の視点で新規事業の創出や既存事業の見直しを行いました。以下に、各基本方針の主な重点事業を紹介します。

基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む

- えいごのまちだの推進
- STEAM教育の視点を取り入れた科学教育の充実
- 新 町田市の未来の学びLab
- 学校給食を活用した食育の推進
- 新 児童生徒が主体的に考え、伝え合う機会の充実
- 学びの入口の充実

基本方針Ⅱ 一人ひとりの多様な学びを推進する

- 不登校児童生徒への支援の充実
- 特別な支援を必要とする児童生徒への支援
- 新 帰国・外国籍児童生徒等への日本語指導の充実
- 多様な図書館サービスの提供

基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する

- 新たな学校づくりの推進
- 新 安心できる通学環境の整備
- 新 学校プール施設の機能向上
- 生涯学習情報のデジタル化の推進と学習相談体制の整備

基本方針Ⅳ 地域とともに学ぶ力を高める

- 新 学校施設活用の推進
- 新 図書コミュニティ施設の運営支援
- 新 学びのネットワークづくりの促進
- 新 教員が担う業務の負担軽減
- 新 学校支援体制の強化

注：●をつけているものは、町田市教育プラン24-28から新たに重点事業に位置づけた取り組みです。

2024年9月(2学期)から中学校全員給食を順次開始します

町田市では現在、市内3か所で給食センターの建設工事を行っており、中学校給食は開設する給食センター等から配送する学校を4つのエリアに分け、2024年9月(2学期)から順次、食缶形式による「全員給食」を開始します。

＊中学校全員給食の開始時期＊

- 2024年9月 堺エリア(堺中学校) ※ゆくのき学園はすでに全員給食
- 2025年1月 鶴川エリア(鶴川・鶴川第二・薬師・真光寺・金井中学校)
- 2025年4月 町田忠生小山エリア(町田第一・町田第二・町田第三・木曾・山崎・忠生・小山田・小山中学校)
- 2025年9月 南エリア(南大谷・南・成瀬台・南成瀬・つくし野中学校)

献立は、自校式の小学校と同様に市の栄養士が作成し、「美しく味良く」、「温もり」を感じて「四季を愉しむ」町田市ならではの学校給食を、丁寧につくり、子どもたちに届けていきます。また、食物アレルギーをお持ちの生徒の方にも安心して給食を食べていただけるよう、主たるアレルギー食材を使用しない専用の献立もご用意します。



中学校の全員給食の詳細はまちだ子育てサイトをご覧ください

お問い合わせ 保健給食課 ☎042・724・2177

新たな学校づくりを進めています！



～子どもも大人も ともに学び、ともに育つ 学び舎づくり～

お問い合わせ 新たな学校づくり推進課 ☎042・785・5471

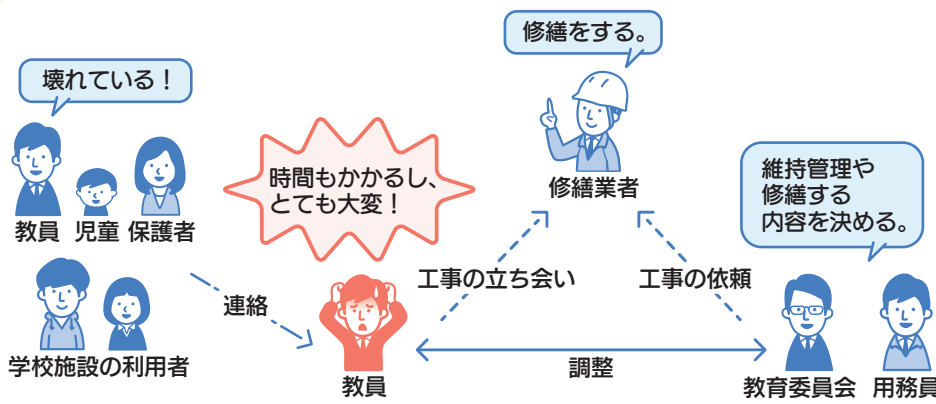
PFI方式による学校整備～施設修繕の例～

本町田地区・南成瀬地区の新校舎はPFI方式で整備します。PFI方式とは公共施設の整備方法のひとつで、市が求める水準を示したうえで、設計、建設、維持管理、運営を一括で長期契約します。

PFI方式を導入するにあたり、必ずしも教員が担う必要のない業務をPFI事業者へ委託することで、教員が教育活動により専念できる環境にします。今回は施設修繕を例にして、PFI方式導入後の学校がどのように変わるのかをご紹介します。PFI方式による学校整備等の契約は2024年9月を予定しています。

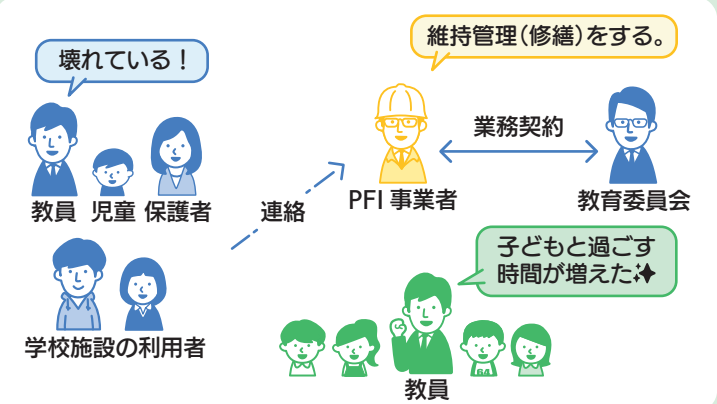
現在

基本的に、施設の点検や施設の使用中に破損や不具合が見つかった場合、校長をはじめとする教員が、教育委員会や用務員に連絡し、修繕の調整を行います。担当者と協力して実際に安全対策をするほか、修繕の現場にも立ち会うなど、時間と手間がかかります。



PFI導入後

PFI事業者が中心となって、各利用者と連絡・調整し修繕を行います。さらに、PFI事業者が日常の保守点検を行い、故障等を未然に防ぎます。



鶴川東地区統合新設小学校の建替え時期等の変更

学校統合を行う鶴川東地区統合新設小学校について、新校舎の建設予定地（現在の鶴川第二小学校）の敷地北側斜面に新たに擁壁改修工事等が必要になることが判明しました。

教育環境への影響を極力抑える手法を検討した結果、新校舎の建替え時期等を下表のとおり変更します。

	変更前	変更後
新校舎建設工事着手	2026年度	2029年度
新校舎使用開始	2029年度	2033年度
仮校舎の位置	現在の鶴川第二小(仮設校舎)	現在の鶴川第三小(既存校舎)
新校舎の位置	現在の鶴川第二小	変更なし

お問い合わせ

施設について… 施設課 ☎042・724・2174
 統合について… 新たな学校づくり推進課 ☎042・785・5471
 学籍について… 学務課 ☎042・724・2176

詳細はこちらからご確認ください →

統合する小学校の児童交流

児童同士が顔見知りや友達になったうえで学校の統合ができるよう、本町田地区の本町田東小学校と本町田小学校、南成瀬地区の南第二小学校と南成瀬小学校では児童の交流を進めています。



本町田地区 薬師池公園への合同遠足



南成瀬地区 連合音楽会の合唱披露

4年ぶり/中学生職場体験を実施しました

2005年度から中学2年生の職場体験を実施しています。2023年度は、町田市立中学校全20校のうち12校で実施しました。

参加した生徒や保護者からは「働くことや他者と協働することの意義を実感した」「今後の進路や将来について考える機会となった」、事業所からは「意欲的に取り組んでいた」「中学生のために、今後も協力したい」という感想をいただきました。

職場体験はキャリア教育の一環として、生徒たちが自分の進路や将来を考えたり、働くことの意義を理解する貴重な機会です。職場体験をこれからも推進していきます。

2024年度は、町田市立中学校全20校で職場体験を実施します。

職場体験は、地域の皆様のご理解とご支援により成り立っています。より一層のご協力をお願いします。



スーパーで品出し・検品を体験する中学生

事業者の皆様へ

職場体験の生徒受入にご協力ください

教育委員会では、連続3日間の中学生職場体験の生徒を受け入れてくださる町田市及び近隣市の事業所を募集しています。

詳細はホームページをご覧ください。

2024年度の職場体験実施日程(予定)

- 第1期 2024年 9月18日(水)～20日(金)
- 第2期 2024年 11月20日(水)～22日(金)
- 第3期 2025年 1月22日(水)～24日(金)



まちだ子育てサイト

※キャリア教育に関する出前講座・オンライン講座へのご協力も、あわせて募集しています。

お問い合わせ 指導課 ☎042・724・2154

「学びの多様化プロジェクト2024-2028」を策定しました

～学校に行く子も行かない子も、安心して育つまちだ～

町田市では、不登校支援は子どもの育ちを支えるプロセス支援であると捉え、相談先や学びの場等につなぎ、継続的に支援を行います。そのため、不登校施策の基本方針として「学校に行く子も行かない子も、安心して育つまちだ」を掲げ、「学びの多様化プロジェクト2024-2028」を策定しました。

学校をお休みしていることで、本来義務教育期間中に身に付くはずの基礎学力や対人交流の経験の機会を逸さないよう、それぞれの子どもの学びの場の確保を目指します。また、子どもの状況に応じて適切な場につながるができるよう、情報提供や相談体制の充実に取り組みます。

学びの多様化プロジェクト2024-2028の取組



学びの多様化プロジェクト2024-2028では何が分かるのかな？

学校を休んでいる子どもの学びの場を確保し、必要な相談や情報につなぐことができる仕組みを整えるため、町田市が取り組む事項を示しています。



お子さんによって、学校をお休みしている・学校に行きにくいと思っている状況は同じでも、ニーズは一人ひとり異なります。「学びの多様化プロジェクト」という名称は、義務教育期間における学びが欠かせないものであるからこそ、一人ひとりの状況に応じて可能な学びを確保する、という町田市の姿勢を表しています。すべての町田の子どもの育ちに必要な学びが得られるよう、支援していきます。

町田市の不登校施策について詳しくは、こちら



お問い合わせ 教育センター ☎ 042・793・2481

「第3期町田市特別支援教育推進計画」を策定しました!

特別な支援を必要とする児童生徒が、一人ひとりに応じた適切な指導と必要な支援を受けながら自分の可能性を伸ばしていけるように、町田市の特別支援教育のさらなる充実を目指して『第3期町田市特別支援教育推進計画』を策定しました。

まちだ子育てサイト [検索](#)



第3期町田市特別支援教育推進計画の4つの基本目標と主な施策

基本目標Ⅰ
 ● 専門性の向上と学校支援の充実

★子どもと直接関わる教員等が、特別支援教育を理解して普段の指導に生かしていけるように、専門性を向上させ、指導力・支援力を高めていきます。

- 主な施策**
- 教員研修等の充実
 - 町田市特別支援教育ハンドブック(学級種別ごと)の作成と活用
 - 特別支援教育支援員の増員

基本目標Ⅱ
 ● 保護者支援に向けた相談体制の充実

★特別な支援を必要とする子どもを適切な支援へつなげることができるように、保護者の方の声を反映させながら各種相談体制の充実を図ります。

- 主な施策**
- 就学相談会・進学相談会の充実
 - 情報提供の充実
 - 保護者に対する意識調査の実施

基本目標Ⅲ
 ● 教育環境の充実

★地域で安心して特別教育を受けることができるように、新たな学校づくりによる統合を見据えて特別支援学級やサポートルーム拠点校の整備をします。

- 主な施策**
- 特別支援学級及びサポートルーム拠点校の整備
 - 新たな学校づくりにおける特別支援学級等の整備

基本目標Ⅳ
 ● 共生社会を目指した連携強化

★子どもの自立や社会参加に向け、学校や関係機関、市の関係部署との連携を強化し、切れ目のない支援体制を継続して構築しています。

- 主な施策**
- 特別支援教育に関する相談窓口の連携
 - 切れ目のない支援を行うための関係機関との連携

お問い合わせ 教育センター ☎ 042・793・2481

ご存じですか？

町田市立図書館

電子書籍サービス



電子書籍サービス
キャラクター
「ブックロー」

「電子書籍サービス」とは

ご自身のスマートフォン、タブレット、パソコン等の端末から電子書籍を借りて読むことができます。

24時間・365日、どこでも利用できるサービスです。

※貸出は3点まで、貸出期間は2週間(336時間)

※予約がない場合に限り1回まで延長可

※貸出期間を過ぎると、自動的に返却となります

※予約は3点まで、取り置き期間は3日間(72時間)

利用対象の方

町田市立図書館の「図書館利用カード」をお持ちで、**町田市内に在住・通勤・通学の方**。

※利用カードをお持ちでない方は、図書館カウンターで、利用登録の手続きが必要です。

※利用カードの利用期限が切れている場合も更新の手続きが必要です。

電子書籍サービスの利用方法

①町田市立図書館ホームページにアクセスして「町田市立図書館電子書籍サービス」のバナーをクリックするか、右記の二次元コードを読み取ってください。電子書籍サービスのページに移動します。



CLICK



③IDとパスワードを入力し、サインインをクリックします。

ようこそ！

サインインしてください。

ID：図書館の利用券番号8桁

初期パスワード：生年月日8桁
(例)2016年1月6日 → 20160106

ライブラリーカード

パスワード

パスワードヘルプ

サインイン

CLICK

②電子書籍サービストップページで「本棚マーク」又は「サインイン」のアイコンをクリックします。



電子書籍サービスアプリ【Libby】もご利用できます。



電子書籍はブラウザ版とアプリ版どちらでもご利用いただけます。画面表示や絞り込みなど細かいところで違いがありますので使いやすい方をご利用ください。

なおアプリ版が入っていると、予約資料確保の連絡などをプッシュ通知しますので便利です。

電子雑誌が読み放題！

貸出冊数に制限されません。最新号もバックナンバーも読むことができます。



えいごの本(音声付き)について

英語での読み上げ機能がついています。英語学習にぴったりです。



町田市立小中学校の児童生徒の方へ

町田市立小中学校の児童生徒の皆さんは、学習者用タブレットからでも「電子書籍サービス」をご利用できます。タブレットのトップ画面にアプリのアイコンを配置していますので、それをタップすることで直接サイトにアクセスできます。

専用IDでサインインしてください。



いつでも
どこでも
24時間使えます

自動返却
返し忘れの
心配なし

拡大機能
文字を大きく
表示できます

これからの読書スタイルのひとつとして、
電子書籍サービスもどうぞご利用ください。

お問い合わせ 中央図書館
町田市原町田3-2-9

☎ 042・728・8220



町田市立図書館ホームページ



町田市立図書館電子書籍サービス

リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は、UDフォントを使用しています。

この広報紙は、78,900部作成し、1部あたりの単価は4円です。(職員人件費を含みます。)